花の里づくりの会

第20号会報 2024年5月 発行



第十二回記念樹《平成29年3月植樹》
花 桃　　（撮影：小松賢吉氏）

科：バラ科　　属：サクラ属　スモモ属
和名：ハナモモ（花桃）
英名：Hana peach　　学名：Prunus persica
原産地：中国　　開花期：4～5月ごろ

花を観賞するために改良されたモモで、花つきがよいため、主に花を観賞する目的で庭木などによく利用される。日本で数多くの品種改良が行われ、種類が豊富。観賞用のハナモモとして改良が行われるようになったのは江戸時代に入ってからで、現在の園芸品種の多くも江戸時代のものが多い。サクラの開花前に咲くことが多い。長野県では桜より遅く、4月中旬から5月初めにかけて、各地の名所で観られる。桃の節句（雛祭り）に飾られる。結実するが実は小さく、食用には適さない。最近では、日本国外でもよく利用される。





花の里づくりの会
会長　米　山　　幸

ごあいさつ

日頃から、皆様には本会の活動にご理解とご協力を戴き厚く御礼申し上げます。
さて、昨年吉田厚雄会長が退任され、後任として会長に就任いたしました米山 幸です。
皆様にはこれからも以前と変わらずご支援、ご協力をお願い申しあげます。

本会の活動も早いもので、今年で20年を迎えることになりました。2005年発行の会報第1号の中山宏元会長の挨拶文には、本会発足の趣旨として地域の人々が集う神社仏閣に其々特色のある花木を植えようじゃないかと、皆で考えたことがこの会の発起につながったと記されています。本会は最初の1年間で正会員が66名、賛助会員が10名、ご寄付者が21名の多数の方の賛同を得まして発足することができました。以降は主に地域のお寺さんに特色のある花苗、花木を植えさせていただくことにより、花と緑を増やしています。近年、近隣地域からも見学者、写真愛好者、スケッチ等に訪れる方々が次第に増えてきました。

その他の活動としましては、今年の2月20日には19回目の新羽小学校の卒業記念植樹祭が新羽丘陵公園で開催されました。本会は毎年、記念植樹の木の提供と育成の指導を行っています。新羽丘陵公園愛護会には毎年春・秋に花壇の花苗の植栽の支援をしています。県立新羽高校には環境整備委員会の活動にプランターの花苗の提供を続けています。また、「新羽の未来をつくる会」、新羽地域ケアプラザの「認知症の啓発活動」に花苗の提供を続けて協力しているところです。

この4年ほど、新型コロナウイルス感染による各種行動制限等がありましたが、なんとか、本会発足以来の地域に花と緑を増やす活動の継続ができました。会員の皆様、ご支援者の皆様には本会の活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。これからも町の皆様と一緒に地域の美化活動を推進していきたいと思います。

「花の里づくりの会」の継続的活動にご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

花の里づくりの会「20年の歩み」

平成15年	準備会発足　発起人　中山　宏　　米山由男
平成16年5月	会員募集
平成16年5月26日	花の里づくりの会　設立総会 会長　中山　宏　副会長　中村利夫　平野重一　吉田厚雄
平成18年3月	新羽小学校　卒業記念植樹開始 ★新羽丘陵公園愛護会への援助、協力開始 ★新羽高等学校の美化事業への協力開始
平成31年	第2代会長　吉田厚雄　副会長　平野重一　尾出清和　米山　幸 ★新羽未来の会への協力開始 ★オレンジの会への協力開始
令和5年	第3代会長　米山　幸　副会長　尾出清和　米山信市



2023年度の植栽及び事業実績

◆新羽丘陵公園◆　丘陵公園の花壇の植栽に補助
◆県立新羽高等学校◆　通学路の美化整備の花の苗の協力　5月、11月
◆市立新羽小学校◆　卒業記念樹　なんじゃもんじゃ 1本
◆光明寺◆　ユキヤナギ 5本、 タマスダレ 100本、 二ホンスイセン 100球、 ギンバイカ 3本、
ヤマユリ 15球
◆西方寺◆　ヒガンバナ 赤 300球、 ヒガンバナ 黄 200球、 ヒガンバナ 白 100球、
ミモザ 1本、 ミツマタ　1本
◆善教寺◆　ドウダンツツジ　10株、 クルメツツジ　10株、 ヤマモミジ　5本
◆蓮華寺◆　ドウダンツツジ　5株、 ユキヤナギ　3本
◆専念寺◆　チューリップ　10種×100球、 パンジー　200株、 八重桜　1本、 さざんか　5本
◆新羽未来の会◆　春・秋　花苗提供
◆新羽ケアプラザ◆　マリーゴールド
◆その他◆　枯れた木などの補植

2024年度の植栽及び事業計画

◆新羽丘陵公園◆　丘陵公園の花壇の植栽に補助
◆県立新羽高等学校◆　通学路の美化整備の花の苗の協力　5月、11月
◆市立新羽小学校◆　卒業記念樹　未定　1本
◆光明寺◆　クリスマスローズ 20株、 ニオイバンマツリ 3本、 ヤマユリ 15球、
キツネのカミソリ 100球、 ヒメヒオウギ 100株、 フリージア 黄 100球、
二ホンスイセン 50球、 ヒガンバナ 赤 100球
◆西方寺◆　ヒガンバナ 赤 300球、 ヒガンバナ 黄 200球、 ヒガンバナ 白 100球、
ヒガンバナピンク(サツマビジン) 500株、 アザレアツバキ 5本、 クリスマスローズ 10株
◆善教寺◆　ツバキ 5株、 クルメツツジ 5株、 ヤマモミジ 5本
◆蓮華寺◆　シャクヤク 4本、 クリスマスローズ 5株、 夏ツバキ 2本
◆専念寺◆　ブルーサルビア 270株、 ユーホルビア 90株、 インパチェンス 90株、
ペチュニア 270株、 ニチニチソウ 135株、 パンジー　200株
◆杉山神社◆　必要があれば植える
◆新羽未来の会◆　春・秋　花苗提供
◆新羽ケアプラザ◆　マリーゴールド
◆その他◆　枯れた木などの補植

光明寺

横浜市港北区新羽町３９９０番地
ＴＥＬ（０４５）５９１－０５９０





銀梅花　５月

菩提樹　6月



テッセン　5月



テッセン　5月



ジャーマンアイリス　５月



ニホンスイセン（天満宮）２月



ヤマブキ黄　４月



ヤマブキ白　４月



シダレザクラ　３月



白梅・紅梅（天満宮）２月



蓮華寺

横浜市港北区新羽町３９５２番地
ＴＥＬ（０４５）５９１－０２２０



ロウバイ　1月



日本水仙　1月



クリスマスローズ　2月



ミツマタ　3月



八重桜　4月



チューリップ　4月



ヤマブキ　4月



モクレン　4月



アジサイ　6月



サルスベリ　9月



専念寺

横浜市港北区新羽町１５７８番地
ＴＥＬ（０４５）５３１－１５１８



桃　３月



桜　３月



桜　３月



木瓜　3月



チューリップ・パンジー　３月



桜　３月



アジサイ　6月



河津桜　2月



ハンカチの木　4月



モクレン　３月



つつじ　4月



アジサイ　6月



善教寺

横浜市港北区新羽町２３９６番地
ＴＥＬ（０４５）５４１－７６８４



紅梅　1月



水仙　2月



しだれ桜　3月



温室内の菩提樹



しらん　4月



撫子　６月～８月



西方寺

横浜市港北区新羽町２５８６番地
ＴＥＬ（０４５）５３１－２３７０



みつまた　３月



彼岸花　9月



蝋梅　1月



中日桜　3月



椿　3月



中日桜　3月



クリスマスローズ　3月



モクレン　3月



ミモザ　3月







1組









No.

植樹の思い出

西田 咲希

私は初めて植樹をしました。初めはまだ小さい木なのに、五月ごろになると白い美しい花が咲き、何年かすると大きな立派な木になるのが楽しみだなと思い植えました。とくになんじゃもんじゃの花言葉の心が清らかという意味を忘れずに、なんじゃもんじゃとともにこれからも成長し続けていけたら、植樹したおかげだし、嬉しいなと思いました。

撮影：小松賢吉氏

新羽丘陵公園での卒業記念植樹

2組









No.

世界に一つだけのなんじゃもんじゃ

柳沢 悠斗

卒業記念植樹を植えるという、とても貴重な体験をして、非常にめぐまれていることを知りました。他の人からはただの木だと思われますが、僕達にとってはその木を見るだけで小学校時代のみんなを思い出す世界に一つだけの大切な木です。大事にしていきたいです。卒業前にまた一つ心に残る思い出が増えたことを感謝しています。

撮影：小松賢吉氏



丘陵公園に感謝を込めて

新羽小学校　校長　　佐 藤 恵 子

２月 20 日、暖かい春の日差しに癒されながら新羽丘陵公園を訪れると、歴代の卒業生が植えた記念樹が、一年前より大きく育っていました。卒業を間近に控えた６年生にとって、この日は新羽丘陵公園で行う最後の学習活動「卒業記念植樹」でした。

６年間たくさんお世話になった新羽丘陵公園は、季節の移り変わりを感じた地域づくりについて思いを巡らせたりできる場所として、大切な学び場でした。記念植樹を通して、公園への感謝の気持ちと卒業の節目を一人ひとりの心に刻みました。

今年度の６年生は「新羽の魅力を伝えよう」を合言葉に、一年間を通して自分たちが育った地域について学び、新羽の魅力を紙芝居とかるたで発表しました。「ね　年齢を気にせず遊ぼう　丘陵公園」「う　美しい丘陵公園のシバザクラ」。丘陵公園をテーマにしたかるたの読み札です。丘陵公園で思い切り遊んだ日、大きく深呼吸して体にエネルギーが湧いた日、空を眺めて夢を描いた日、６年間変わらぬ景色で自分たちを見守り心を潤わせてくれた丘陵公園は、これからも皆の心の故郷です。

記念植樹にご尽力いただきました花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会をはじめ、関係機関の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。新羽の緑あふれる町づくりには、人に寄り添う温かな風土と住民総出の尊い子育て文化が感じられます。そのような尊い町づくりに今年も６年生が参加せせていただきました。受け取った愛情を力に、卒業生が大きく成長していくことを願います。





新羽小学校卒業記念植樹

新羽小学校PTA　会長　　長 澤 佑 典

今年で 19 回目を迎える新羽小学校記念植樹が、さる２月 20 日に新羽丘陵公園にて行われました。

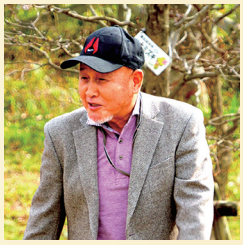
２月とは思えない春の訪れを感じさせるような暖かい陽気の中、花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、港北区長、港北土木事務所、地域協力者の皆様にお越しいただき、執り行われました。

今年度の卒業生たちは、「なんじゃもんじゃ」の苗木を選びました。花言葉は「清廉」。なんじゃもんじゃの花は、５月頃に小さな白い花をたくさん咲かせます。「心や態度が美しく、清く、立派」になれるようにとの想いを持って、苗木を選んだようです。

卒業生たちは、植樹の仕方を教えて頂きながら、全員で穴を掘り、苗木を植え、土をかけ、丁寧に水をあげていました。

卒業生の言葉で、８年後、20 歳の時にみんなで苗木の成長を見に来ようと言っていたのが印象的でした。卒業生にとって、新羽丘陵公園が人生を振り返る場所になれば良いなと思っています。

このような素敵な場所と記念植樹という活動を支えていただいている、花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、港北土木事務所、地域協力者の皆様に、PTA を代表して心より御礼申し上げます。今後とも、新羽の子供達と歴代の記念樹を見守り、温かくご指導いただけたらと思います。



新羽丘陵公園愛護会　会長　　中 山　　正

陽春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
私儀、一昨年より小山定雄前会長の後任として就任いたしました。
平素より愛護会の活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
丘陵公園が開設され、早いもので 30 年近くを迎えようとしております。同時に愛護会が結成され、現在会員 37 名となりました。新羽小学校校長、PTA 関係者、近隣ボランティアの皆様のお力のもと支えられております。
昨年は港北土木事務所のご配慮と近隣の方々のご協力もあり、バス通りへ抜ける道路が出来、竹林も整備され、明るく安全で快適な散歩コースとなりました。小学校卒業記念植樹の木も立派に育ちより一層緑豊かな公園となりました。
新羽丘陵公園の現在の様子をお知らせすると共に、会員一同これからも力を注いでまいります。
最後に花の里づくりの益々の発展と関係者皆様のご健勝をご祈念し、挨拶とさせていただきます。





港北区長　　漆 原 順 一

新羽小学校卒業記念植樹祭の開催、おめでとうございます。
新羽小学校をはじめ、花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、地域の皆様には、日頃から、魅力あるまちづくりに取り組んでいただき、ありがとうございます。そして、新羽小学校を卒業される皆さん、ご卒業、おめでとうございます。
皆さんは、友達、先生、そして、地域の皆様と共に、さまざまな経験をしながら、充実した６年間を過ごしたことと思います。
新羽丘陵公園で遊んだことも、皆さんにとって、大切な思い出の一つになっていると思います。
さて、３年後の 2027 年に横浜市では、花や緑、環境をテーマとした「グリーンエキスポ」が開催されます。かけがえのない環境をどう守っていくのか、それを皆さんと考えるイベントです。この公園の環境が、美しくあり続けるのも「花の里づくりの会」や「新羽丘陵公園愛護会」などの地域の皆様の活動のおかげです。
このようなまちづくりの取組が、人と人をつないでくれます。皆さんが卒業後も、この公園で、友達と過ごして、つながり続けてもらえると嬉しいです。
結びになりますが、新羽小学校を卒業される皆さんが、花と緑を愛する大人に成長されていくことを祈念するとともに、今日お集りの皆さんの、ご健勝とご発展を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

神奈川県立新羽高等学校敷地内の緑化整備

日頃から、本校の教育活動の推進につきまして、御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。
本年度の、５月11日と11月９日に、環境整備委員会の生徒が中心となり、本校敷地内の正門横とロータリー、昇降口付近の緑化整備を行いました。
これも「花の里づくりの会」よりご支援をいただいたおかげであり、この場を借りまして心より感謝申し上げます。
その後は、定期的に水やりを行い、少しでも長く美しい花が維持できるように大切に育てております。豊富な色彩の花々を見て、本校生徒や来校される方、そして地域の皆様が笑顔で楽しんでいただけると、とても嬉しく思います。
今後も、「花の里づくりの会」の皆様が推進されている緑化活動を本校の教育の一環として位置づけ、地域の皆様とともに、歩んでまいりたいと思いますので、より一層の御理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

神奈川県立新羽高等学校　副校長　重本英生

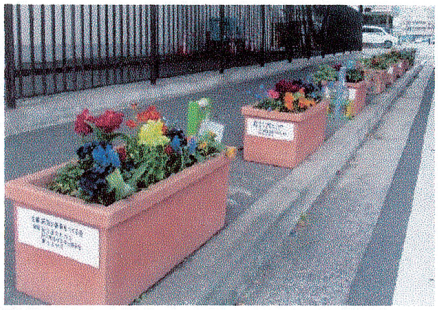


新羽の未来をつくる会

平成 27 年に発足した「新羽の未来をつくる会」は新羽町連合町内会と新羽地区社会福祉協議会の後援のもと活動しています。

その活動の一つとして「町を花で明るくしたい」という思いから、新羽駅の高架下に花のプランターを設置しました。「花の里づくりの会」より苗をご提供いただき、ボランティアの方々が日々水やりや草取り等をしながら管理し、年に数回、地域の子供たちと交流しながら植え替えを行っています。高架下は日中も暗い雰囲気になりがちですが、ここは美しい花によって明るさをもたらされています。

昨年度より参加している「港北オープンガーデン」でも、たくさんの方が MAP 片手にプランターを訪れてくださいました。「新羽の未来をつくる会」は、これからも豊かな自然、夢や希望にあふれる町、子どもたちが大人になって戻ってきたいふるさととして自然あふれる新羽の町づくりを進めてまいりたいと思います。

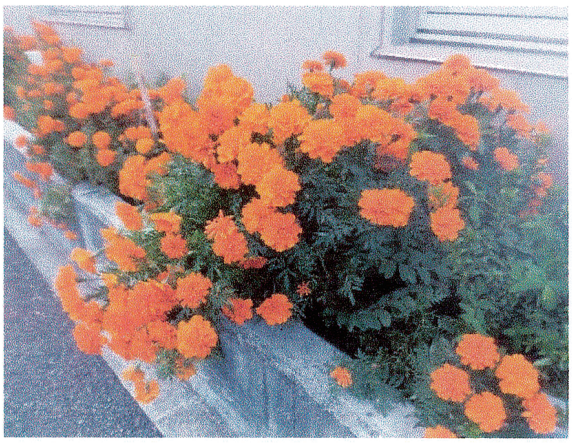




オレンジの輪プロジェクト　（マリーゴールドで認知症の啓発）

新羽地区社会福祉協議会は、新羽地域ケアプラザが主催している認知症への理解を広めるための「オレンジの輪プロジェクト」に賛同しています。

認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のマリーゴールドの苗を「花の里づくりの会」から寄付していただき、多くの方に見ていただける場所に植えています。今後も認知症への理解が深まりますように、この活動にご支援とご協力をお願いいたします。




ご挨拶

花の里づくりの会は、発足20周年を迎えました。私は発足前の準備会の頃から末席で関わらせていただきましたが、２０年という節目を迎えられたことをとても喜ばしく感じています。何事もそうでしょうが、始めることにも大きな力が要りますが、それが継続されることには、更に大きな力が必要です。花の里づくりの会が、コロナ禍にも負けずに２０年にわたって継続できたことは、多くの人たちのご協力やご助力があってこそのことであり、その意味では、「継続された」のではなく、皆様の力が「継続させた」結果であると思います。

それは、多くの会員や準会員の方々にこの活動の意味を認識していただけたからだと改めて感じ、その思いをしっかりと受け止めて、３０年、４０年と継続していかなければと思う次第です。どうぞ今後とも宜しくお願いいたします。

花の里づくりの会顧問　　光明寺　　植野 法稔



花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、本会は会員の皆様の会費で運営しております。お問い合わせがありましたら、事務局（下記参照）までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

花の里づくりの会　会報第20号　2024年5月発行
発行者／花の里づくりの会　会長　米山　幸
お問合せ先／事務局　中山憲治　TEL 090-3099-1418
印　　刷／有限会社 田丸文林堂

花の里づくりの会　案内図

